

令和4年度事業報告書

令和4年度は、事業計画に基づき、全国社会保険労務士会連合会（以下「連合会」という）と密接な連携を図り、適切な連絡・指導のもとに

1. 会員の業務拡充・改善に関する事業
 2. 社会貢献に関する事業
 3. 資質向上に関する事業
 4. 広報に関する事業
 5. 行政機関等との連携に関する事業
 6. 関係団体等との交流に関する事業
 7. 組織運営・県会財政に関する事業
 8. その他の事業
- を実施した。

（1）令和4年度長崎県社会保険労務士会会員数

| | 令和4.3.31 現在会員数 | 令和4年度 | | 区分変更者数 | | 令和5.3.31 現在会員数 |
|-------|-------------------|-------|------|--------|----|-------------------|
| | | 入会者数 | 退会者数 | 増 | 減 | |
| 開業会員 | 115 | 5 | 3 | 9 | 1 | 125 |
| 法人の社員 | 7 | 1 | 0 | 2 | 2 | 8 |
| 勤務等会員 | 71 | 11 | 4 | 4 | 12 | 70 |
| 計 | 193 | 17 | 7 | 15 | 15 | 203 |
| 法人会員 | 6 | 2 | 0 | 0 | 0 | 8 |

（2）支部別会員内訳

| | 県南支部 | 県央支部 | 県北支部 | 合 計 |
|-------|------|------|------|-----|
| 開業会員 | 67 | 32 | 26 | 125 |
| 法人の社員 | 5 | 0 | 3 | 8 |
| 勤務等会員 | 42 | 14 | 14 | 70 |
| 計 | 114 | 46 | 43 | 203 |
| 法人会員 | 5 | 0 | 3 | 8 |

（3）特定社会保険労務士会員数

| | 県南支部 | 県央支部 | 県北支部 | 合 計 |
|-------|------|------|------|-----|
| 開業会員 | 24 | 16 | 8 | 48 |
| 法人の社員 | 2 | 0 | 2 | 4 |
| 勤務等会員 | 7 | 3 | 1 | 11 |
| 計 | 33 | 19 | 11 | 63 |

I. 事業報告

1. 会員の業務拡充・改善に関する事業

(1) 行政機関等からの受託事業の推進事業

①長崎県から「介護職員処遇改善加算等取得促進支援事業」を受託

- 1) 内容：介護職員の処遇改善加算について、介護事業者等への制度周知やキャリアパス要件等に係る助言・指導を行った。
- 2) 期間：令和4年6月20日～令和5年3月31日
- 3) 広報：県会ホームページに案内を掲載し、PRリーフレットを作成・配布した。
- 4) 協力会員：梶原英二会員、小林義人会員、佐藤孝文会員、堀江武志会員、梅澤 浩会員、小玉 亨会員、小瀬良 清会員、佐藤信吾会員、末永訓弘会員、山本光昭副会長（コーディネーター）、山内小百合副会長（コーディネーター）（計11名）
- 5) 実績：介護事業所に対し42回、福祉事業所に対し33回支援

②日本年金機構から「年金事務所における年金相談窓口業務」を受託

- 1) 内容：県内4年金事務所に相談員を配置して年金相談窓口業務を行った。
- 2) 期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日
- 3) 協力会員：小川美智子会員、塚脇盛次郎会員、寺元弓美子会員、徳本 剛会員、中西岳彦会員、大野くにか会員、藤原 剛会員、藤高由起会員、小玉 亨会員、松尾陽子会員、森永律子会員、小瀬良 清会員、竹田恵子会員、陣内昭彦会員（計14名）
- 4) 代表年金事務所との定例会議を開催（後掲）

(2) 県会主導事業

①街角の年金相談センター（オフィス）事業

- 1) 内容：連合会が受託した街角の年金相談センター事業について、都道府県会に設置された運営部として協力を行った。
- 2) 期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日
- 3) 業務委託社労士：大野くにか会員、塚脇盛次郎会員、徳本 剛会員（計3名）
- 4) 実績：年間相談件数4,110件

②社労士会労働紛争解決センター長崎

- 1) 運営体制：運営委員4名、あっせん委員候補者3名、弁護士2名
- 2) 広報：県会ホームページに案内を掲載し、PRリーフレットを事務局で配布
- 3) 実績：申立件数0件
- 4) 研修：令和4年9月9日（金）に佐賀・長崎合同ADR研修を開催
内容／講義：最新裁判例からみる紛争状況と処理方法
双方向講義：労働相談、あっせん申請の事例研究
講師／熊本大学大学院人文社会科学部（法学系）
交渉紛争解決学分野 教授 紺屋博昭氏
- 5) 会議：長崎労働局主催の連絡協議会については後掲

(3) デジタル化への対応と電子申請の利用促進事業

①デジタル化推進委員会を中心に下記事業を実施した。

- 1) 社労士通信にコラムを寄稿し、マイナンバーカード取得、健康保険証登録の促進のための国の施策紹介を行った。

- 2) 情報セキュリティ対応のための研修会を実施した（後掲）
 - 3) 社労士通信にコラムを寄稿し、デジタルツール活用のための情報発信を行った。
 - 4) 研修会等の機会を通じて SRP II 認証の取得促進を図った。
- ②昨年度に引き続き、連合会のデジタル化推進本部会議に、会長、理事1名、会員1名が参加した。
- ③全会員のメールアドレス登録を目指し、会員へ協力を呼び掛けた。
- ④連合会及び関係機関等からの通知についてはメール配信で会員へ情報提供を行った。

2. 社会貢献に関する事業

(1) 総合労働相談所・年金相談センター事業

定例相談日時：毎週水曜日 13：30～16：00

| 相談内容 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 1.いじめ・嫌がらせ | 1 | | | 1 | | | | | | | | | 2 |
| 2.自己都合退職 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 3.解雇 | | | | 1 | | | | | 1 | 1 | 1 | | 4 |
| 4.労働条件の引き下げ | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 5.退職勧奨 | | | | | | | | | | | 1 | | 1 |
| 6.雇止め | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 7.出向・配置転換 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 8.雇用管理等 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 9.募集・採用 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 10.採用内定取消 | | | | | | | | | | | | | 0 |
| 11.その他の労働条件 | | | | | 1 | 1 | | 1 | | | | 1 | 4 |
| 12.その他 | 3 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 3 | 9 | 1 | 5 | 4 | 4 | 40 |
| 計 | 4 | 2 | 3 | 3 | 3 | 4 | 3 | 10 | 2 | 6 | 6 | 5 | 51 |

(2) 学校教育に関する事業

高等学校・大学・専門学校といった学校教育の場に会員を講師として派遣し、卒業後の社会生活に必要な健康保険・年金および労災保険・雇用保険の制度概要・利用方法や労働基準法等に関する基礎知識を教示した。

| 日時 | 学校名 | 講師 | 生徒数 |
|------------|------------------|---------|------|
| 令和4年6月28日 | 長崎県美容専門学校 | 塩見英敏会員 | 52名 |
| 令和4年11月2日 | 長崎歯科衛生士専門学校 | 吉田実幸会員 | 39名 |
| 令和4年12月7日 | 九州文化学園高等学校 | 長濱かおり会員 | 259名 |
| 令和4年12月19日 | 長崎県立西彼農業高等学校 | 丸山愛子会員 | 51名※ |
| 令和5年1月18日 | 長崎外国語大学 | 吉田実幸会員 | 100名 |
| 令和5年1月20日 | 海星高等学校 | 佐藤孝文会員 | 170名 |
| 令和5年1月30日 | 長崎県立波佐見高等学校 | 山内小百合会員 | 80名 |
| 令和5年2月6日 | 長崎県立大村城南高等学校 | 長濱かおり会員 | 122名 |
| 令和5年2月8日 | 長崎県立鳴滝高等学校定時制昼間部 | 佐藤孝文会員 | 20名 |
| 令和5年2月10日 | 長崎県立大崎高等学校 | 山本光昭会員 | 32名 |
| 令和5年2月10日 | 長崎県立島原工業高等学校 | 荒木舞子会員 | 110名 |

| | | | |
|-----------|--------------|---------|------|
| 令和5年2月13日 | 純心女子高等学校 | 塩見英敏会員 | 115名 |
| 令和5年2月14日 | 長崎県立川棚高等学校 | 長濱かおり会員 | 40名 |
| 令和5年2月20日 | 長崎県立島原翔南高等学校 | 荒木舞子会員 | 23名 |

※は諸事情により出前授業への講師派遣は行わず資料提供のみ実施した。

(3) 成年後見制度への対応に関する事業

- ①成年後見センターだよりを発行し、長崎県社労士成年後見センターの概要、成年後見業務に関する年間研修計画、名簿登載方法等について周知を行った。
- ②一般社団法人社労士成年後見センター福岡主催の成年後見人養成講座について会員へ周知を行った。また、同センター主催の継続研修についてセンター会員へ受講勧奨を行った。
- ③長崎家庭裁判所へ成年後見人候補者名簿の提出を行った。
(登載者：大野くにか会員、森 伸男会員)

(4) 労働条件審査への取り組みに関する事業

労働条件審査推進委員会を主体として、他県会の取組みに関する情報収集を行った。

(5) 日本司法支援センター（法テラス）への協力事業

問い合わせに応じて法テラスの紹介を行った。

(6) がん患者の就労支援事業（両立支援事業）への協力

長崎労働局の長崎県地域両立支援推進チームに引き続き参画した。（会議内容は後掲）

3. 資質向上に関する事業

(1) 業務拡充・改善事業に関する研修事業

第4回介護事業労務管理研修を実施した。（詳細は後掲）

(2) 連合会が主催する研修

- ①連合会研修システム（e-ラーニング）の利用勧奨を行った。
- ②特別研修の開催日程等について、会員へ情報提供を行った。

(3) 九州・沖縄地域協議会が主催する研修

| 年月日 | 場 所 | 内 容 | 講 師 | 参加者数 |
|------------|----------------|--|---|----------------|
| R4. 11. 22 | 沖縄 (ハイブリッド) | 人の定着と育成に主眼を置いた 評価制度のつくり方とは | ドリームサポート社会保険労務 士法人 代表社員／特定 社会保険労務士 安中 繁氏 | 171名 (長崎10) |
| R5. 2. 22 | 佐賀 (ハイブリッド) | 1. 経営者の失敗事例から学ぶ、問 題社員の退職に関する対応術 ～社長、社員本音、着眼点、事 案遭遇時の対処方法～ 2. 紙芝居で学ぶ！社労士のための 雇用調整・事業継承事例とミニ 人財育成アイデア集 | 1. 札幌シティ法律事務所 弁護士 佐藤大蔵氏 2. 青葉法律事務所 中小 企業診断士・弁護士 藤堂武久氏 | 137名 (長崎15) |

| | | | | |
|----------|---------------|--|---|------------------|
| R5. 3. 3 | 福岡 (JR博多駅) | BPR フェスティバル 1. 基調講演「日本の“生活スタイル”と“家族”の未来」-DX 化社会における 多様な働き方- 2. DX 推進研修「いまこそ社労士が業務改革を！」 | 1. 信州大学特任准教授・法学博士／ ニューヨーク州弁護士 山口真由氏 2. 伴芳夫氏・加藤智史氏 (福岡会会員) | 249 名 (長崎 23) |
|----------|---------------|--|---|------------------|

(4) 長崎県会主催の研修

| 年月日 | 場 所 | 内 容 | 講 師 | 参加者数 |
|------------|-------------------|--------------------------------|--|----------------------------|
| R4. 5. 6 | 当会研修室 (オンライン) | 65 歳超雇用推進助成金等説明会 | 高齢・障害・求職者雇用支援機構長崎支部業務課 | 45 名 |
| R4. 5. 31 | 当会研修室 (オンライン) | 電子帳簿保存法並びにインボイス制度研修会 | 長崎税務署個人課税第一部門記帳指導推進官 池田大輔氏 | 39 名 |
| R4. 8. 9 | 当会研修室 | 第 4 回介護事業労務管理研修 講義・グループワーク | 県南支部 堀江武志会員 | 6 名 |
| R4. 9. 9 | カンパリエール 長崎 | 第 4 回佐賀・長崎合同 ADR 研修会 | 熊本大学大学院人文社会科学部 (法学系) 交渉紛争解決学分野 教授 紺屋博昭氏 | 28 名 (佐賀 14) (長崎 14) |
| R4. 11. 25 | 当会研修室 (ハイブリッド) | 令和 4 年度労務管理研修会 第三者行為災害届の手続き | 長崎労働局労働基準部労災補償課費用徴収専門官 松浦亮子氏 | 27 名 |
| R5. 1. 18 | 当会研修室 (ハイブリッド) | 社労士の業務展開の取組み | 弁護士法人菰田総合法律事務所 弁護士 菰田泰隆氏 | 21 名 |
| R5. 2. 14 | 当会研修室 (ハイブリッド) | 電子申請並びに 情報セキュリティ研修会 | 県北支部 丸山愛子会員 IPA 登録セキュリティプレゼンター 乗松真二氏 | 32 名 |
| R5. 3. 18 | 県会研修室 (ハイブリッド) | 令和 4 年度新規入会者必須研修 並びに開業準備研修 | 山内副会長、萬屋政連会長、 山口事務局長、長崎 S R 経営 労務センター吉田事務局長、 大坪理事、吉田大理事、 三浦恵理子会員 | 15 名 5 名 |
| R5. 3. 22 | 県会研修室 | 令和 4 年度雇用関係助成金 研修会 | 長崎労働局雇用環境・均等 室、職業対策課担当官 | 36 名 |

(5) 年金部会

| 年月日 | 場 所 | 内 容 | 講 師 | 参加者数 |
|-----------|-------------------|--|--------|------|
| R4. 5. 28 | 当会研修室 (ハイブリッド) | ①複数の実施機関に加入期間のある人の合算契機と加入年金額の加算開始・支給停止 ②一元化で変わっている共済組合の絡む加給年金額の停止額と停止解除 | 徳本 剛会員 | 15 名 |
| R4. 8. 20 | 当会研修室 (ハイブリッド) | ①前回勉強会の振り返り ②振替加算について ③繰下げ請求について | 濱 忠会員 | 14 名 |

| | | | | |
|------------|-------------------|--|------------|-----|
| R4. 9. 17 | 当会研修室 (ハイブリッド) | ①共済組合の絡む事務処理誤り ②なじみの薄い公務員組合の関係する年金 | 坂井三郎 会員 | 16名 |
| R4. 11. 26 | 当会研修室 (ハイブリッド) | ①一般の障害年金の事例 ②障害者扶養共済制度とは何か ③一元化前に遡っての障害共済年金の請求は可能か | 徳本 剛会員 | 11名 |
| R5. 1. 28 | 当会研修室 (ハイブリッド) | ①地方公務員の障害年金の一元化前と一元化後の取扱いの違い ②共済組合が決定する一元化後の事後重症の取扱い ③地方公務員の障害年金の年金額の算定方法 ④複数の実施機関に加入したことがある人の障害年金の年金額の算定方法 | 濱 忠会員 | 17名 |
| R5. 3. 25 | 当会研修室 (ハイブリッド) | ①旧厚生年金保険法の障害年金と法定免除の取扱いについて ②特別一時金とは何か ③旧厚生年金保険法の障害年金の年金額の算定方法 | 坂井三郎 会員 | 11名 |

(6) 研修の受講簡便性の向上のための施策

オンライン研修実施のためにパソコンを購入した。また、オンライン研修への参加勧奨を積極的に行った。

4. 広報に関する事業

(1) 当会ホームページのリニューアル

スマートフォン閲覧対応やセキュリティ対策強化が課題であったホームページについて、令和4年度の重点施策として広報委員会を中心にデザインやシステムの検討に取り組んだ。黄色とオレンジを基調とした明るいイメージで統一し、各ページを一新するとともに、特に一般の方と会員の架け橋になるよう会員検索ページの構築に力を入れ、令和5年3月1日にリニューアル公開した。

(2) 社労士制度推進月間事業

①無料相談会の実施

- 1) 日時：11月9日(水)、11月16日(水)、11月30日(水)の10:00~16:00
- 2) 実施方法：電話相談、対面相談、オンライン相談
- 3) 協力会員：榮 紀祥会員、吉田俊哉会員、吉田実幸会員
- 4) 広報：報道機関及び新聞社13社へのプレスリリースを実施、リーフレット3,000枚の作成と配布、会員への周知、取材対応(NIB、長崎新聞社)、当会及び連合会ホームページへの掲載
- 5) 相談件数：8件

②連合会が作製した広報ノベルティの配布

社会保険労務士制度PRポスター60枚を関係機関等へ配布した。

(3) 広報誌の発行

- ①令和5年1月に「会報ながさき91号」を320部発行した。

- ②2 か月に1回、奇数月に「社労士通信」を発行した（92号～96号）
- (4) 開業・法人社員会員名簿を作製し、関係機関等へ配布した。（4月と11月、各1,000枚）
- (5) 新聞紙上広告の掲載
- ①社労士の日広告：長崎新聞（令和4年12月2日掲載）
 - ②年始元旦名刺広告：長崎新聞（令和5年1月1日掲載）
 - ③年頭所感広告：長崎新聞（同上）
- (6) 長崎バス車外広告 令和4年4月～令和5年3月、バス2台に掲出
- (7) 県下各労働基準監督署、職業安定所、年金事務所に社労士名札の掲示

5. 行政機関等との連携に関する事業

- (1) 長崎労働局「雇用保険・年金等アドバイザー」
長崎労働局職業安定部から推薦依頼があった佐世保ハローワークの標記アドバイザーについて、公募を行い下記のとおり推薦した。
梶原英二会員
- (2) 長崎労働局「雇用保険電子申請アドバイザー」
長崎労働局職業安定部から推薦依頼があった標記アドバイザーについて、2度公募を行ったが応募者はなかった。
- (3) 長崎労働局「雇用調整助成金等申請手続き支援アドバイザー」
長崎労働局職業安定部から推薦依頼があった標記アドバイザーについて、公募を行い下記のとおり推薦した。
大村ハローワーク：吉田俊哉会員、小瀬良 清会員、三浦恵理子会員、森 優伸会員
江迎ハローワーク：森 伸男会員、坂井三郎会員、末永訓弘会員
五島ハローワーク：才津禎一朗会員、松村貴之会員
対馬ハローワーク：平間静穂会員
島原ハローワーク：森 伸男会員、小瀬良 清会員、山内小百合会員
壱岐出張所：塩見英敏会員、布江勇樹会員、吉田俊哉会員
- (4) 長崎県「緊急雇用維持アドバイザー」
長崎県産業労働部から推薦依頼があった標記アドバイザーについて、公募を行い下記のとおり推薦した。
大曲義典会員、才津禎一朗会員、森 伸男会員、吉田俊哉会員、片岡英樹会員、
小瀬良 清会員、森 優伸会員、山内小百合会員、坂井三郎会員、末永訓弘会員、
平間静穂会員
- (5) 長崎県「職場環境づくりアドバイザー」
長崎県産業労働部から推薦依頼があった標記アドバイザーについて、公募を行い下記のとおり推薦した。
堀江武志会員、森 伸男会員、末永訓弘会員、山本光昭会員

- (6) 長崎県警察本部「安全運転管理者等講習における講師」
長崎県警察本部から推薦依頼があった標記講師について、公募を行い下記のとおり推薦した。
森 伸男会員、小玉 亨会員、長濱かおり会員
- (7) 長崎行政監視行政相談センター「一日なんでも相談の相談員」
長崎行政監視行政相談センターから推薦依頼があった標記相談員について、公募を行い下記のとおり推薦した。
大 村 市：小玉 亨会員
雲 仙 市：応募者なし
南島原市：応募者なし
- (8) 国土交通省の建設業における社会保険未加入対策事業
連合会からの協力要請に基づき、引き続き問合せ対応を行った。(相談件数なし)

6. 関係団体等の交流に関する事業

- (1) 長崎県保育士人材確保事業における「職場環境改善アドバイザー」
長崎県保育協会から推薦依頼があった標記アドバイザーについて、公募を行い下記のとおり推薦した。
川中裕次郎会員、才津禎一朗会員、堀江武志会員、梅澤 浩会員、小瀬良 清会員、
小玉 亨会員、末永訓弘会員
- (2) 長崎専門職団体連絡協議会に参加した。(会議の内容は後掲)

7. 組織運営・県会財政に関する事業

- (1) 各組織の活動状況
- ①支部
- i) 県南支部：支部長 西山浩之
ii) 県央支部：支部長 古場 章
iii) 県北支部：支部長 吉田 大
- ・行政官庁等に掲示しているネームプレートの調査及び現状確認を行った。
 - ・支部会を開催した(県南：1/17、3/23、県央：10/26、3/24、県北：3/29)
- ②常設委員会
- i) 業務監察並びに綱紀委員会
委員長 横尾忠則
委員 山本光昭、山内小百合、大坪孝聡
- ・要綱に定められた職務について、情報提供があった際に適切に対応した。
- ii) 総務財政委員会
副会長 山内小百合
委員長 古場 章
委員 吉田実幸
- ・委員会を開催し、会員への情報配信・会議開催・規程の改廃・事務局の勤務環境に係る事項等を協議した。

iii) 研修委員会

副会長 山内小百合

委員長 大坪孝聡

委員 馬渡友明、三浦恵理子、徳本 剛、榮 紀祥

・委員会を開催し、研修会の企画立案・研修会当日の運營業務を行った。

iv) 広報委員会

副会長 横尾忠則

委員長 萬屋隆之

委員 堀江武志、西山浩之、古場 章、吉田 大

・委員会を開催し、広報活動について検討を行った他、ホームページリニューアルのための検討や会報誌の発行等を行った。

v) デジタル化推進委員会

副会長 横尾忠則

委員長 西山浩之

委員 塚脇盛次郎、平山克己、梅澤 浩

・委員会を開催し、電子申請や業務効率化を図るツール並びにオンラインミーティングに関する情報交換を行い、会員への情報提供について検討を行った。

・電子申請や情報セキュリティに関する研修会を開催した。

・デジタルツール活用のための内部勉強会を実施した。

vi) 学校教育推進委員会

副会長 山本光昭

委員長 徳本 剛

委員 山内小百合、萬屋隆之

・委員会を開催し、出前授業に関する打合せ及び講師経験者からの体験談について共有を図った。

・県内の高等学校、大学・短期大学、専門学校からの出前授業申込みに対応し講師を派遣した。

vii) 労働条件審査推進委員会

副会長 山本光昭

委員長 徳本 剛

委員 梅澤 浩、吉田実幸、西山浩之

・労働条件審査導入を地方公共団体へ提案するための情報収集に努めた。

viii) 業務推進委員会

副会長 山本光昭

委員長 吉田 大

委員 西浦友也、梅澤 浩、河崎勇之介、横尾忠則

・行政官庁や関係団体等から依頼がなされた講師・相談員・アドバイザーの推薦について検討を行った。また受託事業の運営管理について対応を行った。

ix) 役員候補者選出委員会

委員長 森 優伸

副委員長 西浦友也、佐藤信吾

委員 松岡秀樹、中山道廣、洪江宏紀

・令和5年度役員改選にあたり、役員候補者選出のために必要な事項を行った。

③センター組織

i) 総合労働相談所・年金相談センター

所長 山本光昭

相談員 石本大介、大曲義典、榮 紀祥、吉田俊哉、吉田実幸

- ・毎週水曜日に開設する相談所について、相談対応と運営を行った。
- ii) 社労士会労働紛争解決センター長崎
センター長 吉田実幸
運営委員 山本光昭、山内小百合、徳本 剛、大坪孝聡（弁護士）
幹旋委員 佐藤孝文、荒木舞子、渋江宏紀、岬 孝暢（弁護士）
 - ・佐賀会との合同研修を開催し、あっせん申立に備えて研修を行った他、長崎労働局の関係機関連絡協議会に参加した。
- iii) 長崎県社労士成年後見センター
センター長 山本光昭
運営委員 森 伸男、大野くにか
監 事 大曲義典
 - ・成年後見業務の受任を目指して広報活動を行った他、センター会員を公募するなど会員向けの情報提供に努めた。

④部会

年金部会

部会長 徳本 剛

代表世話人 濱 忠

- ・当会会員の資質向上、年金に関する専門的知識の習得のため、2 ヶ月に一度、自主勉強会を開催した。

⑤その他

会長を代理する者

副会長 横尾忠則

- (2) 会費の口座振替システムの導入
会員の利便性向上のため口座振替システムを導入することとし、必要な諸準備を行った。
- (3) 情報開示及び疑義照会運用基準の制定
会員の知る権利の尊重と事業活動の円滑化を図り、当職が目指す「開かれた会」の実現のために標記運用基準を制定した。（令和4年11月5日施行）
- (4) 事務局体制強化と業務効率化
標記目的を達成するため、給与計算ソフトを導入した。
- (5) 社会保険労務士制度創設 55 周年記念事業
令和5年度は社会保険労務士制度創設 55 周年にあたることから、積立金の計上を行った。

8. その他の事業

- (1) 長崎SR経営労務センターの運営・発展への協力
当会組織全体で長崎SR経営労務センターの運営と発展に協力した。
- (2) 社会保険労務士試験事務に関する事業
社会保険労務士試験事務が国から連合会に委託されていることに伴い、各都道府県会が連合会の試験事務に協力するものであり、受験者への情報提供等に努めた。
- (3) 社労士賠償責任保険への加入促進

社労士賠償責任保険と連合会が行う各種共済制度（福祉共済事業、年金共済事業、社会保険労務士賠償責任保険事業）の周知を行った。

（４）業務関連商品及び刊行物図書の購入斡旋頒布

購入を希望する会員に業務関連商品及び刊行物図書の斡旋頒布を行った。

以上